

独立技術士研究会・岐阜県技術士会 合同見学会

田島 記

日時：平成26年7月29日（火） 14:00～16:30

場所：東邦ガス株式会社 本社

参加者：石川君雄、犬丸晋、澤井巖、田島暎久、中川邦好、春田要一、前田武光、村橋光臣、安田義美
計9名

東邦ガスの対応者：今津 英一郎 氏

お客さま保安部、工場管理センター・チーフ、技術士（機械部門）

- 本館
 - ・従業員は約 3000 人。これに関連会社約 3000 人が加わって総勢約 6000 人。
 - ・愛知、三重、岐阜の 3 県の約 230 万世帯に天然ガスを供給。ガス導管の総延長は 28000 km 以上。
 - ・四日市工場と知多緑浜工場で液化天然ガスを気化。
 - ・四日市工場と知多 LNG 共同基地は伊勢湾横断海底パイプライン（中部電力と共同）で結合。
 - ・工場からの家庭までは導管圧力を整圧器によって 4 段階に順次下げて供給。
- 西館
 - ・供給指令室をガラス越しに見学。
 - ・災害対策本部室の大スクリーン、各席のモニター・スクリーンを使って、災害対策フロー図、高中圧導管監視画面、全地震情報表示画面などを体験視聴。
 - ・地震・風水害など異常事態発生の際は、この災害対策本部室に被害情報を集めて対策を決定し指令。
 - ・震災の教訓として、①設備対策 ②緊急対策 ③災害対策 を策定。設備対策はタンク、導管など免震構造化。緊急対策は二次災害防止のため被害情報の迅速収集、災害対策本部の適格運営。災害対策は復旧計画、総合防災訓練、備蓄倉庫など。
 - ・災害対策本部室のある西館ビルは免震構造と自家発電設備を持つ。地下の常用・防災兼用の自家発電設備、ガス・エンジン・コジェネレーション装置（三菱重工製）を見学。
 - ・西館の地下に移動して、積層ゴム・アイソレーター方式の免震構造を見学。前回の独立技術士会講演で元鹿島建設・竹中氏から積層ゴム・アイソレーターの話を聞いていたので巨大な現物の迫力を実感。
- 安全技能研修センター
 - ・篠田所長の概要説明に続いて、訓練設備を見学。地面を掘り下げた埋設現場、家屋や飲食店を模した建物、整圧器の修理教材、不適切な作業で高圧継手が暴発するデモなど。研修の要は「安全」。
 - ・東邦ガス独自の技能検定制度を適用。年間 7000～7500 人の研修者を受け入れ。
- その他。構内には大きな倉庫が 2 棟、屋外には多くの大物資材が積まれ、ガス供給網を維持することは非常に大変なことだと実感。生産管理部門



記念撮影 背後の煉瓦作りは東邦ガス創業期の建物の一部を記念に遺したもの



災害対策本部室を体験